

平成31年・令和元年度 活動報告

《湖山地区人推協活動》

| 日程 | 項目 | 参加人数 |
|----------|------------|------|
| 4月18日(木) | 理事会 | 6 |
| 5月14日(火) | 総会 | 31 |
| 5月14日(火) | 小地域懇談会 説明会 | 15 |
| 7月10日(水) | 県外現地研修 | 34 |
| 8月26日(月) | 理事会 | 6 |
| 12月8日(日) | 人権啓発研修会 | 36 |
| 12月8日(日) | 理事会 | 6 |

《湖東ブロック人推協活動》

| 日程 | 項目 | 参加人数 |
|-----------|-------------|------|
| 4月12日(金) | 総会 | 3 |
| 8月6日(火) | 人権啓発研修会打合せ会 | 2 |
| 9月14日(土) | 人権啓発研修会 | 6 |
| 11月14日(木) | 会長研修会 | 2 |
| 1月11日(土) | 推進員研修会 | 3 |
| 3月6日(金) | 総会 | 3 |

《鳥取市地区人推協連合会・県人推協活動》

| 日程 | 項目 | 参加人数 |
|-----------|-------------------------|------|
| 6月4日(火) | 第39回鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会総会 | 3 |
| 6月19日(水) | 推進員研修会(選択講座) | 2 |
| 6月28日(水) | 会長研修会 | 1 |
| 7月7日(日) | 推進員研修会(選択講座) | 1 |
| 7月12日(金) | 推進員全体研修会 | 2 |
| 7月13日(土) | 推進員全体研修会 | 2 |
| 7月17日(水) | 推進員研修会(選択講座) | 2 |
| 8月2日(金) | 第46回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会 | 6 |
| 8月8日(火) | 第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 | 2 |
| 9月7日(土) | 推進員研修会(選択講座) | 1 |
| 9月9日(月) | 推進員研修会(選択講座) | 1 |
| 9月25日(木) | 推進員研修会(選択講座) | 4 |
| 12月15日(日) | 推進員全体研修会 | 3 |



湖東ブロック 研修会

推進員研修会

■令和2年1月11日(土) 9:30~11:40
 場 所: 賀露地区公民館
 講 演: 人と人のよりよい関係をつくるために
 ~デートDVについて~
 講 師: 鳥取人権擁護委員 中嶋 武士 さん

感想 DVとデートDVの違いや、DVの種類、DVのサイクル、DVは相手を支配することなどについて学ぶことができた

令和元年度 鳥取市人権標語入賞作品

- 《小中学生の部》
「ごめんね。」と 声をかければ なかなか
大切な 見えない心を 考えよう
- 《企業の部》
認めよう 十人十色の素敵な個性
1人ひとりの輝く個性 磨いて広がる多様性

編集後記 今年度も各町区の皆様のご協力により、湖山町人推協の活動を計画通り無事終了することができありがとうございました。

小地域懇談会では、参加者の減少や固定化、世代を受け継ぐ若者の参加が少ないとの意見がどの会場でも多く、テーマや開催内容の見直しが必要となっています。人権はとく難しく自分には関係ないと思えるのではなく、自分の問題として日々の生活の中で思っている問題意識をみなさんと話し合うことが第一歩となると思います。皆様には、一度、人推協の活動や小地域懇談会へ是非参加してみてください。



退任のごあいさつ

湖山地区人権啓発推進員 前田 博實

人権啓発推進員の役目を退くにあたり、振り返ってみます。

私は、退職後、公民館の「男の料理教室」等に参加していたところ、推進員さんになってほしい旨、会長さんから依頼があり、引き受けることになりました。

以来、10年間、諸先輩方や公民館職員の皆様の協力を得ながら何とか役目を果たしてきましたが、各種研修会で学習していくなかで、改めて人権問題の広さを奥深さを感じました。しかし、一番大切なことは、お互いが相手を思いやる心を持って接することができるかどうかだと思います。

様々な人権問題等、地域の皆様にお世話になりながら多くの方々との出会いとともに学んだことは本当によい思い出です。

今後も、地域の人が多く集まって、楽しく話ができる、そんな小地域懇談会が続いていくことを願っております。



就任のごあいさつ

湖山地区人権啓発推進員 澁谷 彰

浜橋公民館長から、「人権推進員になってみないか?」との突然の話。

これまで、人権問題に関心があつた訳でもなく、地区の小地域懇談会にもほとんど出席したことがなかったので、随分悩みましたが、勉強する良い機会だと思い、引き受ける事にしました。人前で話をする事が大の苦手ですが、背伸びせず、皆様と共に学んで成長していきたいと思ひます。

主な活動の中に、小地域懇談会があります。「人権問題」と聞くと、堅苦しいイメージですが、身近な問題に接する事で、少しでも、考えを深める良い機会になればと思ひます。

皆様に参加されやすい雰囲気作りを心掛け、活動が有意義なものとなるよう努めていきたいと思ひます。

日本国憲法(抄)

第十四条 すべて国民は、法の下(もと)に平等であつて、人種、信条、性別、社会的的身分又は門地により、政治的・経済的又は社会的関係において、差別されない。

こやま地区 人推協だより

— 第 27 号 —

2020年(令和2年)3月25日
編集・発行
湖山地区人権啓発推進協議会
〒680-0941 鳥取市湖山町北1丁目202-1
TEL (0857)28-1017
FAX (0857)28-1119



県外視察研修

『姫路市 ~皮革産業の歴史にふれて~』



思いやりあふれる まちづくりをめざして

湖山地区人権啓発推進協議会

会長 田中 忠義

平成から令和へと元号が変わる節目の年となるなかで、今年度計画した諸事業を無事に終了することができました。ご協力いただきました町民の皆様や湖山町自治会の皆様、小地域懇談会の開催町区の皆様には、格別のご支援とご理解をいただき、厚く感謝申し上げます。

今年度の主な事業の中で7月に行った県外視察研修では、「姫路市~皮革産業の歴史にふれて」とテーマに、江戸時代中期から皮革のなめし技術の発達と共に姫路の産業として「皮(動物等の皮そのもの)」をなめしの工程を経て、「革(製品の材料)」をつくる産業として発展してきています。皮革の歴史や資料の展示されている姫路市西御着総合センターの展示室を見学し、皮革産業が農家の副業から発展してきたことや数々の皮革展示品が武士や庶民の生活に必要なものとして作られていたことを実感することができました。

午後からは、3年前に平成の大修理を終えた世界文化遺産で国宝の姫路城を見学し、ボランティアガイドさんの説明に耳を傾けるなかで、一般の見学では知りえることのない内容を聞くことができ参加者一同、少し鼻高な気持ちになりました。

次に小地域懇談会では、現在の湖山町自体の高齢化の現状から3年前より「高齢者の人権問題」さらに一昨年「障が

いのある人の人権問題」をテーマに取り上げ話し合いを進めてまいりました。

認知症についての正しい理解を深め、認知症の方やその家族が安心して町内で暮らしていくためには、地域に住む私たちが手助けや見守りをする事で、高齢者やその家族を支えることにつながります。そのためにも日頃から地域活動への参加やコミュニケーション作りが大切であることを学ぶことができました。

また障がいのある人の人権については、様々な障がいへの理解を深め、障がいのある人へ私たちが何ができるのかについて話し合いを行ってきました。

12月には、近年全国各地で風水害による大災害が発生しており、避難所生活や自宅避難生活も長期になる現状から、日野ボランティアネットワークの山下弘彦さんを講師に「災害と人権~災害を人災としないために」と題して講演をいただきました。誰もが助かるために、誰もが暮らしを取り戻すために私たちは何をすればよいのかについて学ぶことができました。

最後になりましたが、今後も人権を身近な問題として考えていただけるよう取り組むなかで、思いやりあふれるまちづくりとなるように、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

『思いやりあふれるまちづくりをめざして』

平成31年・令和元年度 小地域懇談会活動報告

さざなみ

- 9月22日 19:00~20:30
- 湖山地区公民館 ■ 参加者:11名
- 視聴DVD「ちゃんと人ときあいたい」

・人との接し方について気づかされました。相手の話をよく聞き、相手にわかりやすい声掛けをするようにしたいと思います。



茶屋2区

- 9月22日 10:00~11:30
- 茶屋2区公民館 ■ 参加者:12名
- 視聴DVD「老いを生きる」

・認知症について、どのように接すればよいのかなどアドバイスがあり、大変参考になりました。



茶屋1区・浜・二本松

- 9月7日 10:00~11:30
- 湖山地区公民館 ■ 参加者:10名
- 視聴DVD「夢のつづき」

・相手の気持ちを考えることが大切。個人や周囲との関わりがとても重要だと感じました。



茶屋3区

- 9月1日 10:30~12:00
- 茶屋3区公民館 ■ 参加者:22名
- 視聴DVD「なぜ、介護者が虐待を…」

・身につまされるテーマで、考えさせられました。話ができる環境を作ることが大事だと感じました。



松ヶ丘

- 8月4日 19:30~21:00
- 湖山地区公民館 ■ 参加者:7名
- 視聴DVD「なぜ、介護者が虐待を…」

・人ごとではないと感じました。悩みを一人で抱え込まない。介護者支援が必要だと感じました。



井津水

- 11月15日 19:00~20:30
- 井津水区公民館 ■ 参加者:20名
- 視聴DVD「夢のつづき」

・考えさせられることがたくさんありました。人が人として生活できる権利がある、つくづく思いました。



新川

- 11月10日 9:00~10:30
- 新川区公民館 ■ 参加者:16名
- 視聴DVD「風の匂い」

・相手のことを考えての「思いやり」を考えさせられました。意識の向上につながると思っています。



コクヨ前・大石橋

- 11月8日 19:00~20:30
- 湖山地区公民館 ■ 参加者:17名
- 視聴DVD「夢のつづき」

・人と人とのつながりが必要だと感じました。毎日の生活に追われていますが、考えるいい機会になりました。



駅前3区

- 10月6日 10:00~11:30
- 駅前3区集会所 ■ 参加者:8名
- 視聴DVD「くらしの中の人権問題〜地域編〜」

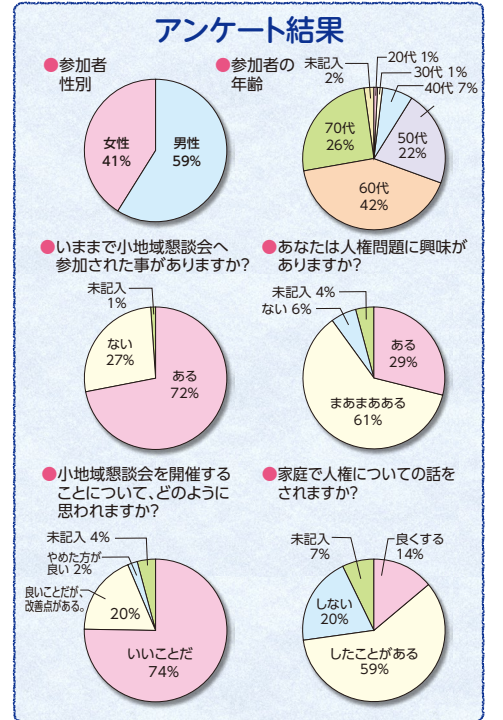
・DVDを見て普段気づかない、思わないことを勉強させていただきました。「他の人もやっている」を改めたいと思いました。



南通り

- 10月5日 19:00~20:30
- 南通り公民館 ■ 参加者:7名
- 視聴DVD「あいサポートステップアップDVD」

・様々な障がいがあり、気づかず過ごしていたかもしれない。視野を広げることが必要だと思いました。



小地域懇談会の改善点

- ・参加者が増えるように事前に内容が身近なことだとわかるようにすることが大事ではないだろうか。
- ・実際に介護者が会社をやめざる事になった場合の具体的な経済支援を示して欲しい。

令和2年度 小地域懇談会 開催町区

- ・島川・茶屋4区・青葉台
- ・駅前1区・駅前2区・南2丁目
- ・南2丁目南・南団地・さかえ・農高南

県外視察研修(公民館共催事業)

- 日付:令和元年7月10日(水) 7:50~17:00
- 場所:兵庫県姫路市 『西御着総合センター皮革資料室』 『国宝姫路城』



今年度の県外研修は、姫路市にある西御着総合センターと国宝姫路城を巡りました。

西御着総合センターでは、革作りについてのDVDを視聴したり皮革資料室を見学したりして、皮革の歴史・革作りについて学びました。姫路市の東部に位置する御着は、昭和初期、村の窮状を救うことを目的に皮革業が取り入れ、今日までその文化を守り継承してきたとのことでした。都合により、当初予定されていた皮革研究家の柏葉嘉徳さんのお話を伺えなかったことは残念でしたが、皮革の技と職人魂を学ぶことができました。また、たくさんの手作りの革の小物もお土産に頂き、大いに感謝しつつセンターを後にしました。

次に向かったのは、シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれている国宝姫路城。平成5年12月、奈良の法隆寺とともに日本で初の世界文化遺産となりました。夏の青空に壮麗な白漆喰塗籠造りの城壁が鮮やかに映え、うっとりするほどでした。ガイドさんに説明をして頂きながら汗をふきふきじっくりと見学をし、見聞を深めることができました。

バスの中では、クイズやビンゴなどで楽しく過ごし、有意義な一日となりました。(湖山地区人権啓発推進員 木下 志津)

人権研修会(自主防災会・社会福祉協議会・公民館共催事業)

- 日付:令和元年12月8日(日) 13:30~15:00
- 場所:湖山地区公民館
- 演題:「災害と人権」 ~災害を人災としないために~
- 講師:日野ボランティアネットワーク 山下 弘彦さん



参加者の感想より

命の大切さ、誰ひとり失ってもならない一人ひとりの命を支え合い生きるためには、先ず自らを助ける備えをするとともに、日頃から地域での交流を大切にして皆で話し合える環境をつくること、また、他の人の助けも借りながら暮らすことも必要であることを改めて感じました。

全国各地で大規模災害が多く発生し、想定外の災害を想定しようとする訓練や、研修がさかんに行われています。今回の研修に参加して、実際に発生した災害時の事例を交えた講演を聴き、避難によって命が助かった後に、暮らしを取り戻すまでの支援の大切さを考えさせられました。普段の防災訓練は、災害発生直後に命が助かるための内容が中心となりがちですが、その先に長く続く在宅避難も含めた避難生活についても人権に配慮した支援の継続が必要で、日常から意識することの重要性を認識しました。自助には限界があり、いざという時に有効な共助によって支援を続けるためには、日頃から地域の関わりを大切に、人の気持ちに配慮できる雰囲気や体制をつくっておくことがポイントのようです。防災と人権がコラボした、とてもいい研修でした。